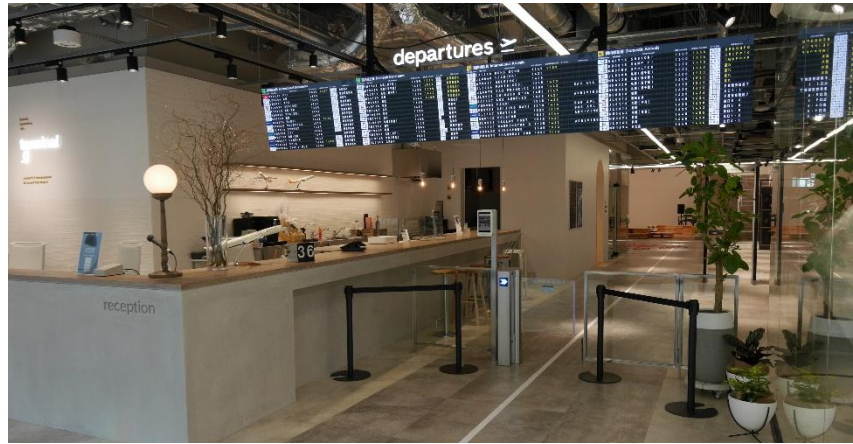


羽田空港の課題解決に異業種連携で取り組む研究開発拠点
「terminal.0 HANEDA」に大連機場集団が新たに参画！



日本空港ビルデング株式会社が羽田空港のさまざまな課題に対し、オープンイノベーションで研究開発を行っていく拠点「terminal.0 HANEDA」に新たに中国の大連周水国際空港を運営する大連機場集団が参画いたしました。これにより、参画企業・団体は全部で 35 社 2 大学 1 団体となります。

本施設では、「人のこころを動かすために、空港が出来ることのすべて。」をテーマに掲げ、空港課題の解決や「羽田空港の未来」の具現化にむけた研究開発を、「保安検査場」「空間デザイン」「先端技術」「設備関連」「未来空港関連」等の項目ごとに取り組んでおります。

【大連機場集団 参画目的】

空港全体のスマート管理、旅客の動態把握、ビッグデータ分析の応用、情報システムの構築といった分野を中心に、スマート化による運営管理やサービス最適化に関する経験を共有し、新技術の空港運営への導入と実践を共同で推進する。



■大連機場集団 概要

大連国際空港集团有限公司は、大連周水子空港の運営、新空港大連金州湾国際空港（2029 年供用開始予定）の建設、および空港臨空経済区の開発を担っています。

同集団は、「中国の地域型航空ハブの構築」を戦略目標に掲げ、単一の輸送企業から航空産業グループへの転換を進めています。

大連空港は、その地理的優位性と政策的支援を背景に、日中航空交流の重要なゲートウェイとして発展しており、日本路線の運航本数は中国国内で常に上位 3 位内を維持。年間対日旅客数は最多で 103 万人を超える実績を持ち、日中間の経済貿易協力および人的交流をつなぐ「空の架け橋」としての役割を果たしています

■「terminal.0 HANEDA」施設概要

名 称：terminal.0 HANEDA（ターミナルゼロ ハネダ）

場 所：羽田イノベーションシティ ZONE C、4階層のうち、2階－3階部

内 容：企業参画型コワーキングスペース事業

開 業 日：2024 年 2 月 28 日（水）